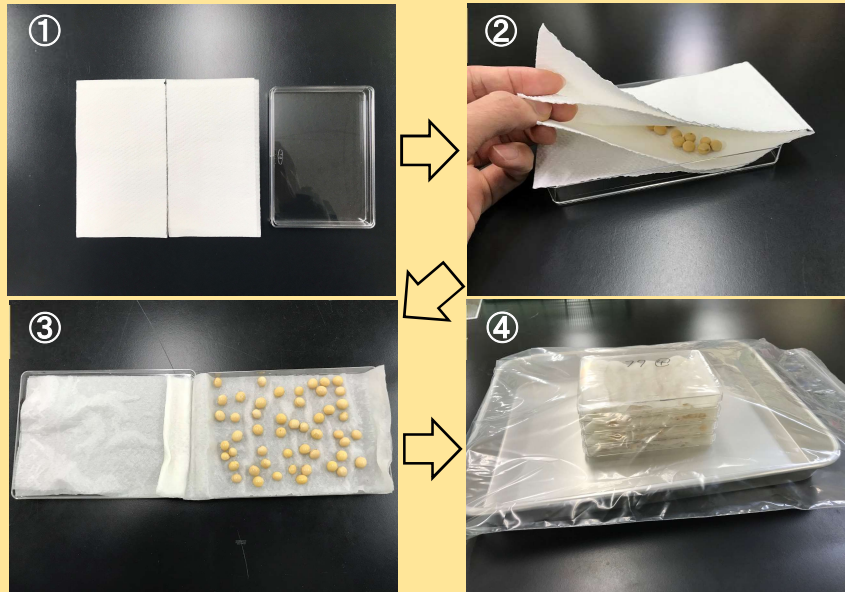


大豆種子における簡易・安定的な発芽試験方法

利用対象：生産物審査実施者

試験用資材として市販の角シャーレとペーパータオルを使用し、シャーレ当たり的大豆子実粒数を50粒、試験開始時の水道水加水量を40ml、加水後にフタをしたシャーレをチャック袋で密閉し25℃で静置することで、発芽率を安定的に評価することができます。

発芽試験 の手順



- ①：4つ折り状態のペーパータオルを2等分し、その半分を角シャーレに乗せます。
(本試験で使用したペーパータオルは1枚を4つ折りにした状態で市販されている)
- ②：2等分し4枚重ねとなっているペーパータオルの中央部に子実50粒を静置します。
(子実の上下に各2枚のペーパータオルが配置される)
- ③：子実上部にペーパータオルを2枚被せて水道水を40ml加水します。
(写真は40ml加水後に子実上部のペーパータオルを外した時の様子)
- ④：ふたをした角シャーレをチャック袋で密閉して25℃で静置します。

【参考】異なる加水量による発芽試験の結果

試験 年次	発芽勢 (%)					【比較】 培土播種	発芽率 (%)					【比較】 培土播種
	加水量						加水量					
	30ml	35ml	40ml	45ml	50ml		30ml	35ml	40ml	45ml	50ml	
2017	78	80	83	78	73	88	94	91	90	83	79	97
2018	67	70	89	89	89	99	95	95	97	95	95	100
2019	94	60	75	76	60	95	99	92	95	91	80	98

【比較】は労力がかかるが、最も安定した試験方法。【比較】と同様の発芽勢、発芽率を示した40mlが最適な加水量。

- ・使用した資材の商品名は、角シャーレが「角型透明デッシュ 角2号」（アズワン製、144×104×16mm）、ペーパータオルが「キムタオルホワイト4つ折り」（日本製紙クレシア製、380×330mm）です。
- ・本試験に使用した大豆品種は「フクユタカ」で、子実の百粒重は28～33gです。

お問い合わせ先	生産技術研究室 農産研究課 松本憲悟 電話 0598-42-6359 中央農業改良普及センター 磯山繁幸 電話 0598-42-6323
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm